

最初の頃の自己研鑽

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中西, 光広 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.14945/00008040 |

最初の頃の自己研鑽

中西光広

静岡大学技術部 技術長

1、はじめに

昭和48年に国家公務員試験に合格し、静岡大学に採用された当時の最初の頃のスキルアップを自己的解釈で報告する。

本学において「静岡大学の強み・特色の一層の伸張」「教育研究組織の改革に関する取組」など「改革加速期間」と位置付け、各学部においてもより早急な課題検討が進められています。技術部においても大学の改革に沿った技術力を身につけなければならないまた現況を踏まえた自己研鑽も若年時には必要である。

2、報告

幅広い知識を得る一方法として、法律経済短期大学（静岡大学）に入学（74年）し、そこで将来の一選択肢として、中学社会の教員免許状取得を目指した。母校中学（伊勢市立北浜中学平成27年度廃校計画）での教育実習期間を、学部研究室で認められ、許可され期間中教壇に立った。はじめて教員的なプレゼンテーション行い後に、実験説明など役立った。

当時木材抽出成分の有効利用を教員が手掛け私も協力する中、試料樹木であるスギ材に関連して屋久島杉視察旅行（自費）を敢行した

3、海外自費視察

初めての海外では、同研究室の助教授が、カナダ留学を果たしそれに伴い同学科助手（現国際交流センター長）他とカナダ・バンクーバーに9日間視察旅行（自費）を81年に行いました。ブリティッシュコロンビア大学（UBC）及び林産試験室などの見学とともに、当大学技術職員と少しの会話（通訳有り）をし、これからの職種を見据える上で大いに役立った。

図1 現UBC



写真は、カナダ国林産研究所です。当研究所は、1979年に国立の研究機関から法人組織に変わりました。林産科学の紙・パルプ研究は、別機関になりましたが同建物に同居しています。



4、研究支援
仕事内容において、学生実験指導に加え研究支援業務が増え、その成果を日本木材学会で発表することになった。

5、外部資金
平成3年度科学研究費補助金・奨励研究(B)が採択され研究資金を得た。

またこのことが学報に掲載され技術職員の仕事がアピールされた。

- 1, ベイモミ材の人工乾燥時に起こる変色障害原因物質
中西光広、甲斐勇二、寺谷文之
第34回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P139 (1984)
 - 2, ベイマツ材のヤニ浸出防止
中西光広、甲斐勇二、寺谷文之
第4回 日本木材加工技術協会講演要旨集 P45 (1986)
 - 3, ヒバ材抽出物のゴキブリ忌避効果
中西光広、甲斐勇二、寺谷文之
第39回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P338 (1989)
- *91年度(平成3年度) 科研費B採択される
- 4, スギ針葉油のゴキブリ忌避効果
中西光広、甲斐勇二、寺谷文之
第42回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P425 (1992)
 - 5, スギ葉油のゴキブリ忌避持続性について
中西光広、浅井幸孝、(故) 甲斐勇二、寺谷文之
第43回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P483 (1993)
 - 6, ヒノキ葉油のゴキブリ忌避成分とその持続性
中西光広、江口英敏、西田友昭、前川英一
第44回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P254 (1994)
 - 7, 街路樹枝葉のゴキブリ忌避効果
中西光広、堤佑司、西田友昭
第51回 日本木材学会大会研究発表要旨集 P372 (2001)
- 東京大学農学部

◆学 事

☆平成3年度科学研究費補助金・奨励研究(B)の採択状況

| 課題番号 | 研 究 課 題 | 研 究 者 | | 配分額 (千円) |
|----------|---|----------------------|---------|-------------|
| | | 所属：職 | 氏 名 | |
| 03918042 | 表面分析における測定条件とデータ処理の共通環境を整えるための基礎研究 | 電子工学 研究所 技 官 | 鈴 木 佳 子 | 200 |
| 03919009 | 針葉油のゴキブリ忌避剤としての効果 | 農 学 部 技 官 | 中 西 光 広 | 200 |
| 03919010 | バラのロックウール栽培における苗質の違いが収量、品質並びに養分吸収に及ぼす影響 | 農 学 部 附属農場 技 官 | 横 山 文 哉 | 200 |